



ゆたかっ子

学校だより 4月号②
(令和5年4月18日発行)
発行責任者
豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原 義仁

ゆめに向かって たくましく かしく生きる ゆたかっ子

学校経営方針説明 特集

令和5年度の始まりにあたり、本校の学校経営の全体構想を下記のとおりグランドデザイン（全体構想図）にまとめました。また、これに関する概要の説明を裏面に記載しています。

令和5年度ゆたか小学校グランドデザイン（全体構想図）

全教職員参画の学校経営

教育目標

ゆめに向かって たくましく かしく生きるゆたかっ子の育成



めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

～自他を尊重し、情報を比較整理し、最適解を見いだそうとする児童～

第1期

出会い・希望
めあて・見通し

次へつながるR-PDCAサイクル

第4期

成長・感謝
振り返り

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

認め合う学級風土づくり

学び・仲間・地域とつながる

単元・授業のマネジメント

めざす子供の姿	自他を尊重	情報を比較整理	最適解を見いだす
	○自分を肯定する。 ○自分の意見や考えを持つ ○他者を肯定し、意見や考えを尊重	○自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って	○自分なりの最適解を見だし、 ○行動する
取組の重点	○共感の人間関係と支持的風土のある学級経営（QU、アセスの活用） ○わからないと言える、失敗しても再挑戦できる風土 ○子供が主体的に企画運営する特別活動（学校行事、委員会活動、学級活動等） ○互いのちがいを認め合う人権教育 ○どこでもだれでも一貫した特別支援教育 ○命を守る危機回避能力を養う安全教育 ○ICT機器の知識・技能の習得	○学習に向かう姿勢 ○自己肯定感を高める支援・指導 ○教科等横断的な魅力ある教育課程の工夫 ○わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 ○読書指導（言の葉たいむ）の充実 ○主体的・対話的で深い学び（協働的な学びと個別最適な学び） ○学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 ○効果的にICT機器を活用した学び	○生徒指導の実践上の視点（4つ）を活かした授業づくり、教育活動 ・自己存在の感受・共感の人間関係の育成 ・自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成 ○見通しをもって課題解決に向かう授業づくり ○振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながる授業づくり ○学びが将来に役立つことを実感する授業づくり（キャリア教育の視点、キャリアパスポート活用） ○自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み ○SDGsの視点を取り入れた授業づくり
	地域教育資源連携	○早寝・早起き・朝ごはん ○明るいあいさつ、てくてく登校 ○主体的な家庭学習の取り組み ○授業参観、学校公開、情報発信 ○学校応援サポーターの推進（保護者の積極的参加）	○明確なあいさつ、てくてく登校 ○授業参観、学校公開、情報発信 ○PTAとの連携

第2期

挑戦
自力解決

授業・体験活動・行事で育てる

第3期

協働
対話

和顔愛語：支持的風土に満ちた居心地のよい学級づくり

率先垂範：教師は最大の「教育環境」

キーワードは

つながる

学びがつながる
人とつながる
明日へつながる教育活動

いじめ解消率100%
をめざして！

共にゆたかっ子の育ちを応援！
【凡事徹底】基本を身に付けよう
【切磋琢磨】共に成長しよう
【持続可能】新たな力を発揮しよう

ゆたかっ子を育む七つの心得

一 笑顔と温かい言葉遣い
二 子どもの話をよく聞く
三 失敗は成長のチャンス
四 子どもを信じ、まかせよう
五 子どものよさを伝えよう
六 結果だけでなく
努力をほめよう
七 うちの子、よその子
みんな ゆたかの子

家庭でも

学校でも

竹のようにすくすくと

知識は智慧に

想像は創造へ

・自分を大切に
・言葉を大切に

協育

地域とともに

地域教育資源の効果的な活用
「ひと・もの・こと」
学校地域協働本部との連携

響育

保護者・児童・関係者に
よる学校評価を生かした
学校教育

共育

保護者とともに
学校公開、教育活動報告
情報発信・連携・協力
学校応援サポーター
PTA活動

つながる学校

表面の「グランドデザイン」の説明（概要）

児童にはその時々で夢や目標を持ち、それに向けて前向きに取り組んでほしいとの思いを込めて、「夢に向かって たくましく かしく生きるゆたかっ子」を教育目標としています。そして、その達成のために、社会が激しく変化する中で、変化に対応し、自ら能動的に社会に働きかけることができる力をつけてほしいと考え「自ら 考え 判断し 行動する」をめざす子どもの姿としました。

中段には、本校におけるめざす子どもの姿の具体像とそれに向けた主な取り組みを記載しています。本校では、1年間を4つに分け、それぞれの期間でテーマを設定し取り組みます。また、教師の統一した基本的考えとして「ポジティブな行動支援の考え方を活かした指導・支援」を行うことで、児童の自発的な行動を喚起するとともに自己肯定感の育成を図りたいと考えています。

下段には、学校でも家庭でも共通して取り組みたい事項として「七つの心得」を中心に学校経営上の基本的な考え等を記載しました。

ここでは、紙面の都合でごく大まかな説明のみとなっていますが、4月30日、日曜授業参観時の「学校経営説明会」で、口頭にて詳しく説明いたします。よろしければ、ご参加下さい。

ゆめに向かって たくましく かしく生きる ゆたかっ子

自ら 考え 判断し 行動する

第4期

成長・感謝

○お世話になった人たちへありがとう！
○これまでの自分に起きた出来事にありがとう！
○ゆたかっ子よ、大志をいだけ！夢に向かって・・・

第3期

協働

○学び合い、教え合い、考え合う。人や社会とつながる喜び
○みんなの力で問題解決 みんなで協力しあって目標に向かう
○いろいろな個性とやさしさが集まってカラフルな世界

第2期

挑戦

○挑戦の数だけ可能性がある。目標において挑戦する
○失敗は成功のチャンス！ころんだらすぐに立ち上がれ！
（何度でもやり直そう）
○一人一人の「個性」と「得意」と「好き」を伸ばす

第1期

出会い・希望

○自分のことは自分でできる（凡事徹底）
○自分の目標をもち、計画を立てる
○毎日が新しい出会い。笑顔であいさつ

竹は節をおかずに強風にもたおされることがなく空へ向かってぐんぐん伸びていきます。節目を大切に一人一人の子どもに強い節をつくる学校教育をめざします。

ゆたか小学校
めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する

自他を尊重し

得られた情報を比較・整理し

最適解を見いだそうとする

強い節をつくる節の力でのびていく

ゆめに向かって たくましく かしく生きるゆたかっ子

登下校に関するお願い

○学校と豊見城市教育委員会は、てくてく登校（徒歩による登校）を勧めています。
・日頃から、道路横断の仕方など交通安全指導をお願いします。

○車で送り迎えをする場合は、駐車場で乗り降りをさせてください。
・校内道路で乗り降りをすると他の車の迷惑になる場合があります。

○校内道路は、最徐行で通行するようにお願いします。
・多くの児童が通行・道路横断等を行います。万一の時に対応できるようご協力をお願いします。

教員が授業に注力するための 業務改善に関するお願い

○学校職員の勤務時間は、8:15～16:45です。

○校外での出来事は保護者または地域の方で対応をお願いします。
・学校では全体的な指導を行います。児童の安全に関わる事項は学校でも対応します。
・学校内での出来事は、学校で責任を持ちます。

○携帯電話（スマートフォン）は、負の部分があることも踏まえて、児童に持たせるか判断してください。
また、校内外にかかわらず、そのトラブル等について学校で責任を負うことはできません。

★学校の責任が及ばない校外での出来事や携帯電話のトラブル等への対応を学校に求められる場合があり、教員の通常業務（授業や校内での生徒指導）に影響を及ぼしています。
少しでも質の高い授業の実施に向けて、ご理解とご協力をお願いします。